



玉翠の庭  
W970 × H1303 × D20mm (F60)  
Oil , acrylic , mixed media on canvas  
2024  
¥602,800(with tax)



玉響の庭  
W1167 × H910 × D20mm (F50)  
Oil , acrylic , mixed media on canvas  
2024  
¥503,800(with tax)



重なる軌跡  
W727 × H1000 × D17mm (P40)  
Oil , acrylic , mixed media on canvas  
2024  
¥445,500 (with tax)



生命の対話  
W1167 × H803 × D20mm (P50)  
Acrylic , mixed media on canvas  
2024  
¥503,800(with tax)



移りゆくとき  
W606 × H803 × D17mm (P25)  
Oil , acrylic , mixed media on canvas  
2024  
¥308,000(with tax)



光と纏う  
W530 × H530 × D17mm (S10)  
Oil , acrylic , mixed media on canvas  
2024  
¥168,300(with tax)



薫風  
W500 × H606 × D20mm(F12)  
Acrylic , mixed media on canvas  
2024  
¥203,500



あの時の華  
W727 × H606 × D17mm (F20)  
Oil , acrylic , mixed media on canvas  
2024  
¥291,000(with tax)



花筏  
W500 × H606 × D20mm (F12)  
Acrylic , mixed media on canvas  
2024  
¥203,500



常初花  
W727 × H606 × D17mm (F20)  
Acrylic , mixed media on canvas  
2023  
¥168,300(with tax)



青嵐  
 W410 × H410 × D17mm(S6)  
 Oil, acrylic , mixed media on canvas  
 2024  
 ¥102,300 (with tax)



花あかり  
 W606 × H803 × D17mm (P25)  
 Acrylic , mixed media on canvas  
 2024  
 ¥168,300(with tax)



万緑  
 φ70× 24mm  
 Acrylic , mixed media on canvas  
 2024  
 ¥308,000(with tax)



種の舞う時  
 φ40× 15mm  
 Acrylic , mixed media on canvas  
 2024  
 ¥135,300 (with tax)



葉の声  
 φ40× 15mm  
 Acrylic , mixed media on canvas  
 2024  
 ¥135,300 (with tax)



徒桜  
 φ40× 15mm  
 Acrylic , mixed media on canvas  
 2024  
 ¥135,300 (with tax)



石畳  
 W242 × H410 × D17mm(M6)  
 Acrylic , mixed media on canvas  
 2023  
 ¥99,000(with tax)



Rain -9月-  
 W727 × H1000 × D20mm(P40)  
 Acrylic , mixed media on canvas  
 2024  
 ¥445,500 (with tax)



Rain - 5月-  
 W500 × H652 × D20mm(P15)  
 Acrylic , mixed media on canvas  
 2024  
 ¥220,000 (with tax)



Rain - 4月-  
 φ50× D17mm  
 Acrylic , mixed media on canvas  
 2024  
 ¥220,000(with tax)



## MARINO.

1989年 愛知県生まれ

画家の父の元に生まれ、幼少期より絵を習う。

武蔵野美術大学 空間演出デザイン 修士課程 修了

在学中は、舞台美術をはじめとする、立体作品を制作。

大学院では和紙とドライフラワーの融合の研究を行う。

20代はモデルとして活動し、その後アーティストへ転身。

2022年 アーティストとして展示を開始。

個展、グループ展を行いながら、モデルルームや、ホテル、オフィスなどコミッションワークを多数納品。

加えて、一般社団法人日本テクスチャーアート協会の代表として、より多くの人にアートに触れてもらえるようワークショップなどを開催し、日本の文化の底上げを目的とした活動も行っている。

**【自然という時を描く】**をコンセプトとし、造園業の家系に生まれたことから自然物より得たインスピレーションをもとに、半立体的な絵画として表現する。

自然物の持つ色彩や形、存在を一瞬一瞬が作り出す軌跡の重なり合いと捉え、

変化しづづける有限なコミュニケーションと造園の世界から得た時間軸の存在の表現を試みる。

主なお取引先

三菱鉛筆、旭化成ホームズ(株)、伊豆民泊、wool design room inc.

住友不動産、三菱地所MEC Design International、LUXE JAPAN、YOKOHAMA BAYSIDE WEARHOUSE、feuquiage

#### Solo exhibition

- 2022年 ALLDAY GALLERY 個展 / 世田谷 若林
- 2022年 MONKEY GALLERY 個展 / 代官山
- 2022年 TEAGATE COFFEE 個展 / 恵比寿
- 2023年 MA5 GALLERY 個展(2/3 -2/19) / 青山
- 2023年 DESIGNART TOKYO 2023 個展 SieMatic 青山 / 外苑前 (10/20-10/29)
- 2024年 gallery201 個展 / 品川 (9/7-9/16)
- 2024年 DESIGNART TOKYO 2024 企画展 渋谷西武ショーウィンドウ/ 渋谷 (10/15-10/28)

#### Goup exhibition

- 2022年 グループ展 出会うアート展 by Sacs 渋谷SACS グループ展 / 渋谷
- 2022年 Independent Tokyo 出店 / 東京
- 2022年 日比谷OKUROJI YORIMICHI グループ展 / 日比谷
- 2022年 SUNNYDAYS Pudding Cafe 店内展示 / 池袋
- 2023年 +ART GALLERY グループ展 / 渋谷スクランブルスクエア F14 (2月)
- 2023年 WHAT CAFE グループ展 / 天王洲 (3月)
- 2023年 GALERIA AZUR SESSION 3 Berlin / ドイツ ベルリン(4/28-5/28)
- 2023年 ONBEAT art show 巡回展 / 大分トキハ / 銀座三越 / 広島三越 / 博多阪急
- 2023年 石川画廊【KIZASHI2023】5人展 / 赤坂 (10/28-11/12)
- 2023年 ART FESTA GINZA 松屋銀座 / 銀座 (11/1-11/9)
- 2023年 gallery 201 10周年記念 グループ展 / 五反田 (11/18-11/26)
- 2023年 Spiral Christmas Market【WHYNOT TOKYO】グループ展 / 青山 (12/21-12/25)
- 2024年 New Energ Tokyo【ONBEAT】グループ展 / 新宿 (2/15-2/18)
- 2024年 六本木蔦屋 WHY.NOTグループ展 / 六本木(1/11-3/23)
- 2024年 山陽百貨店/津松菱 グループ展 / 姫路・津(4/10-4/16)

#### 雑誌掲載

- 『ONBEAT vol.18』ONBEATが推薦する注目若手作家たち 掲載
- 『ONBEAT vol.21』特集 掲載

#### TV

- 全カメイキング(TBS) テクスチャーアート
- THE ART HOUSE(日テレ)

#### パッケージデザイン

- feuquiage 期間限定コラボ サブレテクスチュール

## Statement

自然という【時を描く】

色、形、時間、香り、エネルギー、存在、常に流動的で移り変わりゆくそれは、

受け取る側に一部を切り取られ、委ねられ、心地よく浮遊し、浸透する。

自然物による、目では捉えられない物の存在と軌跡をもとに、定点でみた『時の重なり』と『利他的エネルギー』を可視化し、

変化しつづける有限なコミュニケーションと造園の世界から得た時間軸の存在の表現を試みる。

彼らは、本能のままに、助け合いながら循環していく。

生きる力強さと繊細さ、永遠ではない儚さ、植物たちが生きる壮大なもう一つの世界。

私は憧れと共に彼らの背中を追い求め続ける。

— 曖昧美 —